



指導案

はじまりは自己紹介 ～話す話題を決める～

1 学習のねらい

心を開いた、自分らしい自己紹介にするための方法を理解し、友達とコミュニケーションすることの楽しさを味わう。

2 番組活用にあたって

新学期になるとあちらこちらで自己紹介が行われますが、「何を話していいかわからない」と戸惑う子や当たり障りのないことを言って終わらせている子も多く見られます。内気で口べたな主人公「サトル」は、そんな子どもたちにとって身近な存在に感じられるはずです。

自己紹介で、自分を理解してもらうためには「自分のことを知る」ことが大切です。ここでは、自分を知るためにマップ（ウェビング）を書き、その中からその場に合った内容を選択する方法を紹介しています。4月の学級開きの時に使うと効果的です。

3 指導の流れ

① これまでの自己紹介を振り返って、困ったことや問題点を出し合う。

- ・みんなの前で、何を話していいのかわからない。
- ・自分のことを話すのは恥ずかしいから、話したくない。
- ・みんなが同じようなことを言うから、面白くない。



② どうしたら自分らしい自己紹介ができるのかな？ 番組を見てみよう！

1. 番組を見て、自己紹介をするには、自分をよく知ることが大切だと気づく。
2. 「将来こうなりたい」などこれからのことを宣言するのも新鮮である。
3. マップを書くと、自分が気づけなかった自分に気づけることを理解する。



③ マップを書いてみよう。

1. 真ん中に自分の名前を書く。
2. 周囲に書く内容→好きなこと・見た目・苦手なこと・将来なりたいもの
やってみたいことなど・最近気になっていることなど



④ マップを使って、自己紹介してみよう。

1. マップを見て、どの部分を使って自己紹介するか考える。
2. 隣の人と自己紹介をし合い、お互いにアドバイスをする。
3. 別の部分を使った自己紹介をし合い、違いがあるかを話し合う。
4. その人らしさが出ている自己紹介を、全体の前でやってもらう。